

情勢報告（平成27年5月分）

中央西農業振興センター高吾農業改良普及所

仁淀川流域から6次産業化を推進！お山の茶明郷園、J Aコスモス、田村蕪株式会社プロジェクト



お山の茶明郷園での話し合い

佐川町のお山の茶明郷園並びにJ Aコスモス、仁淀川町の田村蕪株式会社プロジェクトでは、今年度、6次産業化推進事業を活用し、加工品の販売促進や商品開発に取り組みます。4月22日、30日には6次産業化サポートセンターのアドバイザーや仁淀川地域本部も参加し、それぞれ第1回目の推進チーム会を行い、商品説明や販売上の課題、今後の販売計画などについて話し合いました。お山の茶明郷園は紅茶、J Aコスモスは緑茶の販路拡大、田村蕪株式会社プロジェクトはカブの加工品開発を計画しており、アドバイザーの支援を受けながら計画を進めて行きます。普及所は、推進チームのメンバーとして、これらの事業推進を主導し、販売拡大に繋げて行きます。

茶の重要害虫チャトゲコナジラミの発生状況調査を管内111茶園で実施



チャトゲコナジラミ幼虫の発生状況

チャトゲコナジラミは2011年に仁淀川町に侵入した茶の害虫です。普及所では、防除対策として、前年度に引き続き4月中旬～5月中旬に、管内111茶園に黄色粘着トラップを設置し、成虫の発生分布や発生密度を調査しました。その結果、前年発生が認められなかった仁淀川町池川地区や佐川町二つ野、日高村などで発生が確認され、管内全域に分布が拡大したことが判りました。発生密度は、仁淀川町の一部で、トラップ当たり5,000頭を越え、品質低下をきたす園が認められましたが、全体的には前年より低下していました。

普及所では、この調査結果に基づき、部会活動を通じて適正な防除指導をしていきます。

夏秋高糖度トマト現地検討会を開催



ほ場巡回の状況

仁淀川町で栽培されている夏秋高糖度トマトの現地検討会が5月15日に開催され、生産者4戸（150a）全員が参加しました。

夏秋栽培では、5月から7月の栽培管理の良否が7月から9月の収量・品質に大きく影響するため、この間の生育や着果状況に応じた、適切な施肥・灌水管理が必要となります。

普及所では、土壌や植物体中の窒素濃度測定や生育診断に基づいた、ほ場ごとの施肥および灌水管理について助言指導を行いました。

夏秋高糖度トマトの出荷は5月下旬から始まります。

今後とも高品質なトマトを生産し、産地を維持できるよう支援していきます。

越知町山椒組合で青実出荷に向けた目慣らし会および通常総会を開催



ほ場巡回の状況

5月1日、越知町山椒組合で、連休明けから出荷が始まった食用山椒の目慣らし会および通常総会が開催されました。目慣らし会では、生産者約20名でほ場巡回を行い、果実の生長状況を確認し、出荷開始日を決定しました。また、総会では、前年度の出荷実績の報告および今年度出荷計画等が検討、承認されました。

普及所からは、土壌pHの適正化や適切な誘引方法や剪定方法などの栽培管理、薬剤防除の試験成績などについて説明しました。今後も、産地を維持できるよう支援していきます。